

非鉄金属市況と需給動向

2021年8月（銅、亜鉛、ニッケル、金・白金族）

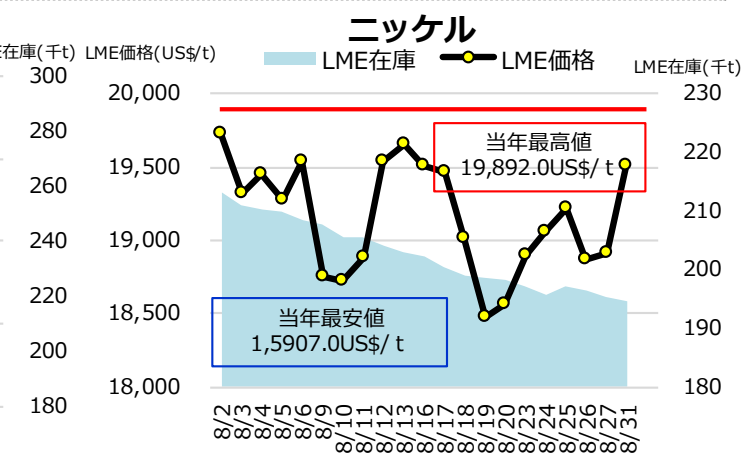
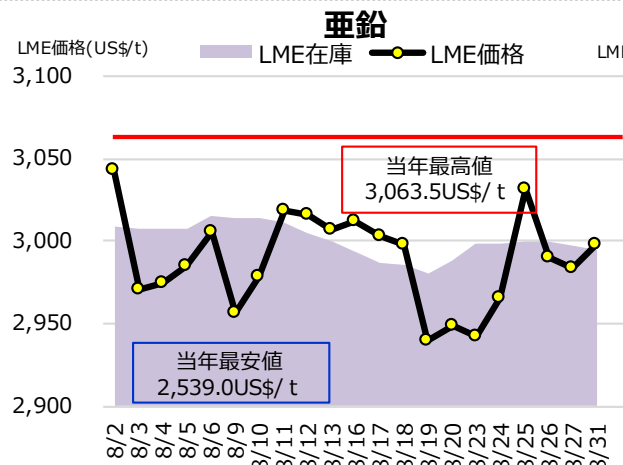
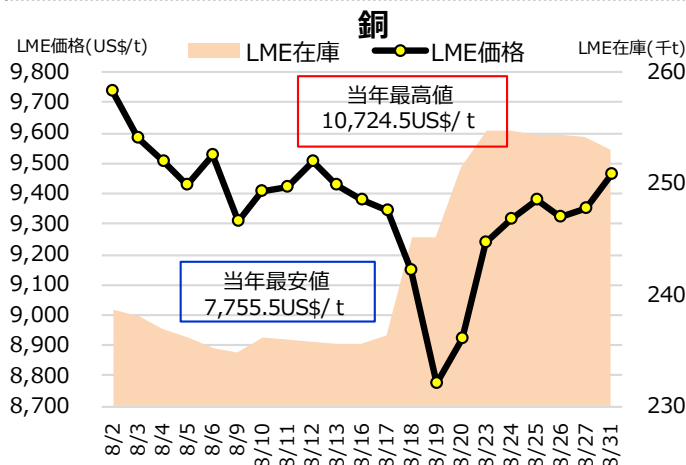
独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

おことわり: 本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用であることを明示してください。よろしくお願いいたします。

ベースメタル市況動向

銅、チリでスト懸念も中国の需要減少で下落基調、トヨタの9月減産報道でベースメタル全般が急落 ■8月市況動向

- ① **銅、中国の需要減退懸念で下落もチリのスト可能性や米経済が下支え**：銅は、7月下旬に生じたチリEscondida銅鉱山のストライキ勃発の可能性が価格を下支え、当月9,737.0US\$/tと高値圏でスタート。亜鉛も30,43US\$/tでのスタートとなったが、7月末に実施された中国国家備蓄の2回目放出で双方とも月初に下落した。その上、世界的な新型コロナウイルス感染拡大や中国の製造業PMIが50.4と前月（50.9）及び予測（50.8）を下回ったことなどから需要減退の見通しとなり、9日に銅は9,311.5US\$/t、亜鉛は2,957US\$/tまで下落した。しかし、チリCaserones銅鉱山でもストライキの懸念が発生し、10日にはEscondida銅鉱山でストライキ回避のためBHPと労働組合の労使交渉が一日延長されたほか、11日にはチリAndina銅鉱山でもストライキ勃発の懸念が、また米国で1tUS\$規模のインフラ投資法案が上院で可決したことで、上昇に転じた。12日は、7月の米国消費者物価指数（CPI）等が+0.5%と前月（+0.9%）を下回ったことで、過度なインフレ懸念が収まったとして、米連邦準備制度理事会（FRB）による早期金融緩和縮小の見通しが後退したことも影響し、9,508.5US\$/tに上昇した。
- ② **トヨタの9月自動車4割減産発表で一気に急落**：13日、チリEscondida銅鉱山の労働争議が妥結、供給懸念が緩和され下落した。更に、中国の7月鉱工業生産指数が6.4%と前月と予想を下回るなど、コロナ「デルタ株」感染拡大の影響で同国の経済成長が鈍化、更に下落した。19日には、トヨタが東南アジアで9月に4割減産予定との報道を受け、ベースメタルが一気に急落、銅は2021年4月ぶりとなる当月最安値8,775.5US\$/t、亜鉛も当月最安値の2,939.5US\$/tを記録した。その後は反動により銅は9,000US\$/t前半まで値を回復して9,462.5US\$/tで、亜鉛は2,997.5US\$/tで越月した。
- ③ **ニッケル、ステンレスの堅調な需要と東南アジアのコロナ拡大で高値継続**：ニッケルは、2021年上半期の中国ステンレス粗鋼生産量が過去最高となる1,624.3万t（前年同期比20.8%増）を記録するなど、世界のステンレス需要が堅調なことから、当月19,725US\$/tと高値圏でスタートした。また、上旬はインドネシアにおけるコロナ感染拡大も価格を下支えした。その後、懸念されていた加Sudbury鉱山のストライキが収束し、9日の週から稼働再開の旨の報道を受け一時18,000US\$/t台に下落した。



需給動向 -銅-

2021年1～5月の世界の銅需給バランスは8万t供給過剰、チリ国内銅鉱山ではスト勃発も収束方向

■需要動向

- ① **国際銅研究会（ICSG）、2021年の世界銅供給過剰を予想**：ICSGによる5月発表の2021年年間予測では、鉱石生産21,321千t、地金生産25,167千t、地金消費は25,088千tで、需給バランスは**2021年は79千t、2022年は110千tの供給過剰**。8月20日発表によると、2021年1～5月の世界の銅需給バランスは**8万tの供給過剰**。2020年同期（12万1千tの過剰）と比較すると、中国を除く世界全体の消費量はコロナ前の水準まで回復していないものの、中国での見掛け消費量増等から過剰幅は減少。
- ② **中国銅輸入量、2年ぶり低水準となり40万t割れ**：中国・税関総署によると、8月の末加工銅輸入量は39万4千tで2020年同月比41%減。銅価格高騰による購買意欲減退・景気減速による需要減が影響との見立て。

■供給動向

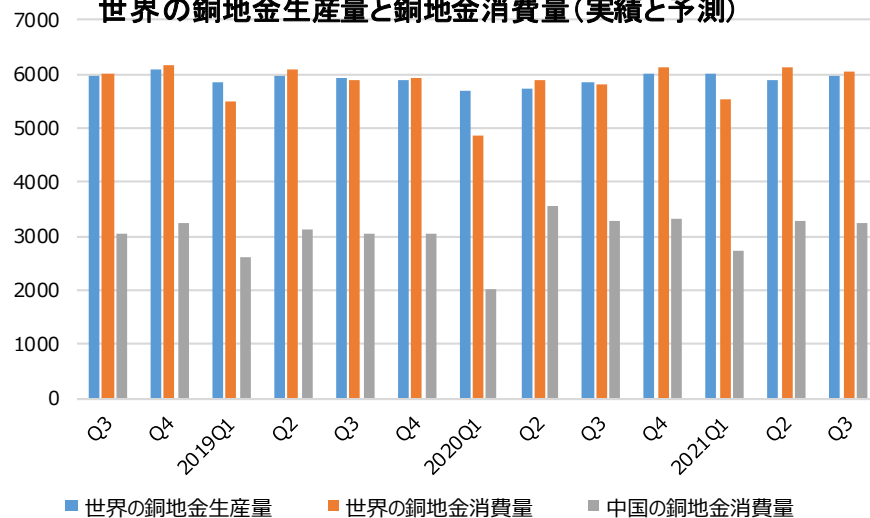
- ① **チリ：国内銅鉱山におけるスト勃発も収束、2021年上半期銅生産量は283.2万t**：Escondida銅鉱山では、BHPによる最終提案に労働組合が合意しスト回避（12日）。Andina銅鉱山では12日からのスト開始後、労働組合がCODELCOと新労使協約に合意し終結（9月1日）。またCaserones銅鉱山では、8月10日からスト継続もMLCC社との合意により終結（9月4日）。チリ国家統計局によると、2021年上半期銅生産量は対2020年同期比1.0%減、依然コロナウイルス影響も2019、2020年水準を維持（7月30日）。
- ② **ペルー：2021年上半期銅生産量は108.3万t**：エネルギー・鉱山省によると、2021年上半期銅生産量は対前年同期比14.1%増（11日）。

■企業動向

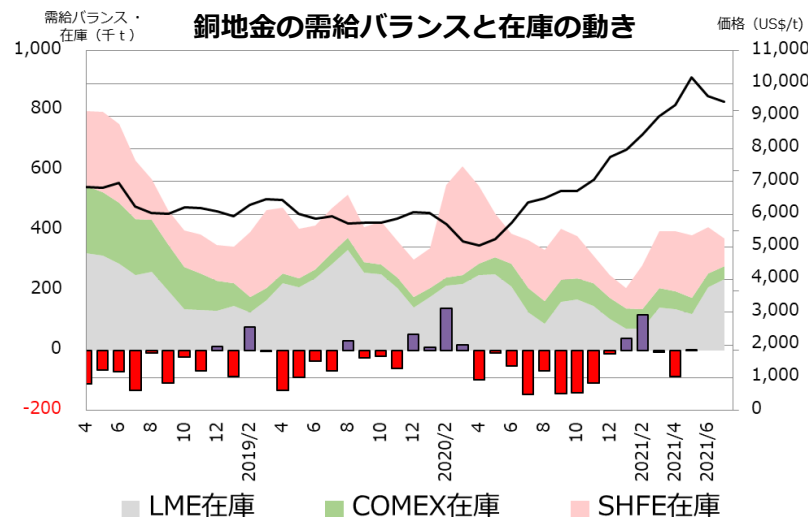
- ① **Teck Resources（加）**：カナダBC州での山火事の影響により、8月14～17日までHighland Valley銅鉱山の操業一時停止。同鉱山では、2021年生産量を12.8～13.3万tと計画も、必要に応じ見直す見込み（20日）。
- ② **CMOC（中国）**：DRコンゴのTenke Fungurume銅・コバルト鉱山へ2.15bUS\$の増産投資を計画。20万t/年（2020年は18.3万t/年）を予定し、2023年完了見込（6日）。

（単位：千t）

世界の銅地金生産量と銅地金消費量（実績と予測）



（出典：調査会社による結果を引用）



※需給バランスのデータは、公表されている2021年5月まで反映。（出典：ICSG）

需給動向 -亜鉛-

3か月連続で供給不足継続も2021年上半期は36千tの供給過剰、中国が国家備蓄を9月に3度目放出

■需給動向

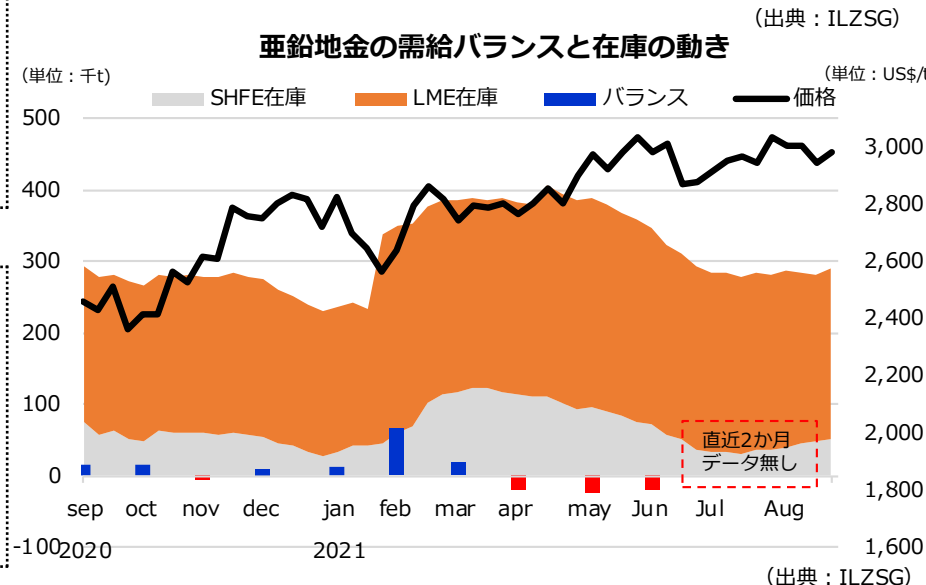
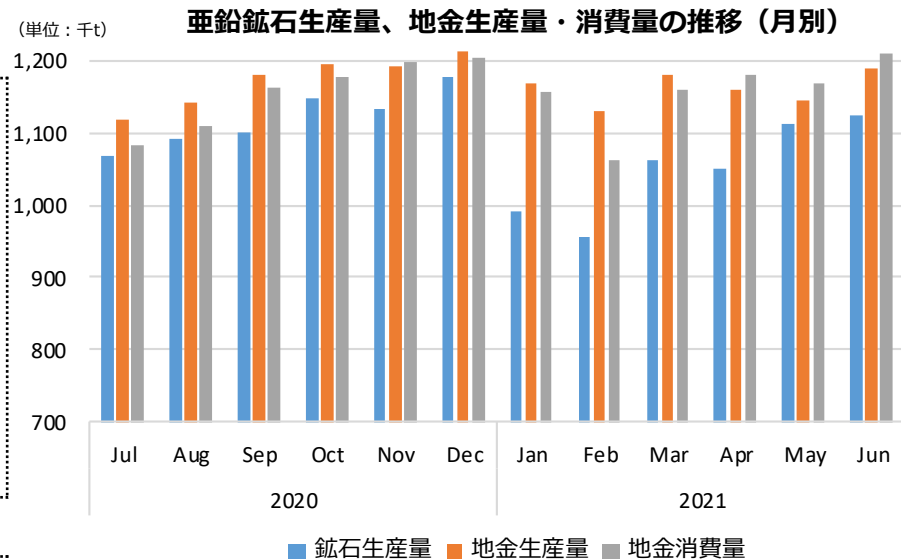
- ① ILZSGによると、2021年6月の鉱石生産量は1,125.0千t（対前月比1.3%増、14.1千t増）で、ペルーの減少が対前月比12.3千t減と大きかったが、中国の増加が18.0千tと大きく、その他カザフスタン、トルコ等アジアの増加により全体も増加した。
- ② 2021年6月の地金生産量は1,188.1千t（対前月比3.9%増、44.1千t増）、地金消費量は1,208.3千t（対前月比3.5%増、40.8千t増）で20.2千tの供給不足となった。地金生産量は5月の減産から盛り返し、2021年の月別で最多生産量となる555.1千tであった。地金消費量は、米国が対前月比13.3千t減であったが、中国が対前月比39.3千t増の612.3千tで全体に大きく貢献したほか、韓国や日本も増加した。
- ③ 2021年前半の地金生産量は6,972千t、地金消費量は6,936千tで、36千tの供給過剰であった。

■関連需要動向

- ① **世界の自動車生産台数**：各種報道によると、2021年6月は6,733.7千台と対前月比10.6%増（6,086.3千台）。中国は微減したが、日本や韓国、インドをはじめとするアジアの生産台数が回復した。
- ② **日本の亜鉛めっき鋼板生産量**：（一社）日本鉄鋼連盟によると、2021年6月は822千tで、対前月（821千t）比で横ばいであった。

■企業動向・その他

- ① **Boliden社（ノルウェー）**：Boliden Odda製錬所に700m€を投資決定、投資完了は2024年で、生産能力が200千t/年から350千t/年に拡大予定（7月21日）。
- ② **雲南馳宏鋅鍍股分有限公司（中国）**：16日、内蒙古自治区の子会社Hulun Buir Chihong社で一酸化炭素中毒事故が発生し3名死亡、地元当局の命令で生産・操業一時停止も生産量への影響は不明（17日）。
- ③ **中国**：国家糧食・物資備蓄局（SRA）、7月に2度に亘って国家備蓄を放出したのに続き、3回目の放出を9月1日に行う旨公告、亜鉛放出量は5万tの予定（31日）。



需給動向 - ニッケル -

中国の環境規制から需要減退が予想される一方、LIB用需要増加の見通しから企業動向が活発化

■ 需要動向

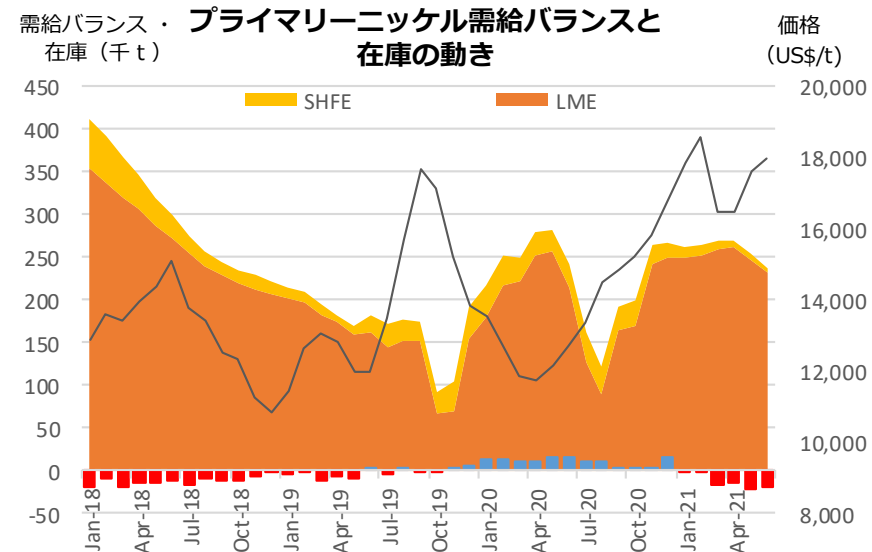
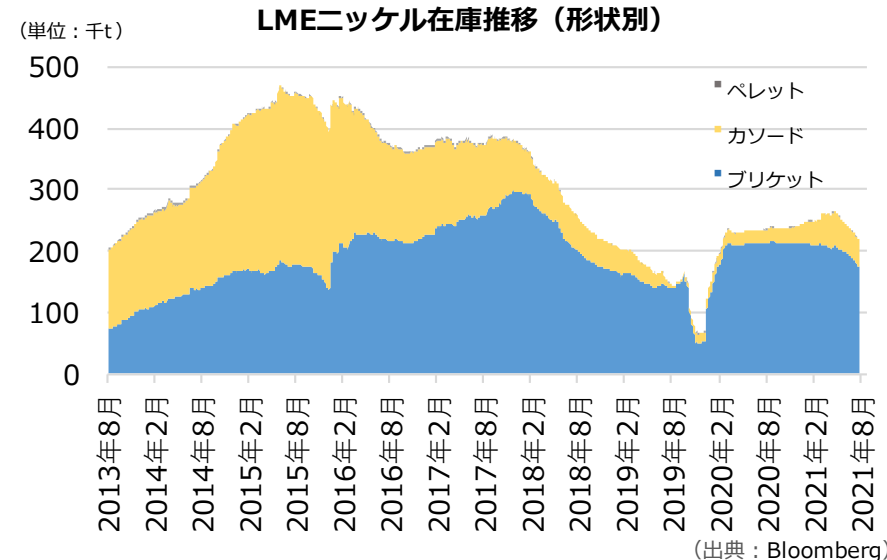
- ① **豪IGO社、WA州に下流工場設立を検討**：Peter Bradford CEOは、サプライチェーンの排出量を削減するため、WA州で電気自動車（EV）用バッテリーのニッケル硫化鉱～硫酸ニッケルの製造まで構想し、他のニッケル鉱山会社と一緒に下流工場を建設することを検討（3日）。
- ② **中国、環境対策のため粗鋼減産へ**：中国の粗鋼生産量の減少が加速し、7月に8,679万tと前月を7.9%下回り2か月連続減少。7月の生産量は、5か月ぶりに9,000万tを割った。中国政府は2021年の同国の粗鋼生産量を2020年よりも減らす計画でいるが、上半期に同生産量が増加したため、計画達成のために秋にも減産を続行する必要があるとの見通しを示唆（17日）。

■ 供給動向

- ① **需給バランス**：国際ニッケル研究会（INSG）によると、2021年6月の世界ニッケル需給バランスは**20.1千tの供給不足**となった。
- ② **住友金属鉱山、LIBリサイクル技術を開発**：2017年より、LIBなどの2次電池からニッケルと銅の回収に成功していたが、不純物を分離することで高純度のニッケルコバルト混合物を回収することに成功した旨を発表（16日）。
- ③ **加Sudbury鉱山、Q4にフル稼働再開予定**：Bloombergの報道によると、ストライキ収束後、8月9日の週から労働者は復帰予定だが、メンテナンスなどがまだ全て完了していないことから、Valeは9月から生産量を増加させ、フル稼働するのはQ4になる見込み（4日）。

■ 企業動向

- ① **Australian Mines（豪）**：韓国LG Energy Solution（LGES）社に、ニッケル71千tを含むMHPを2024年から6年間供給するオフテイク契約を締結。
- ② **Noront Resources（加）**：BHPの買収提案について、豪Wyloo Metals社からの反論があったものの、BHPからの買収提案を改めて支持（23日）。

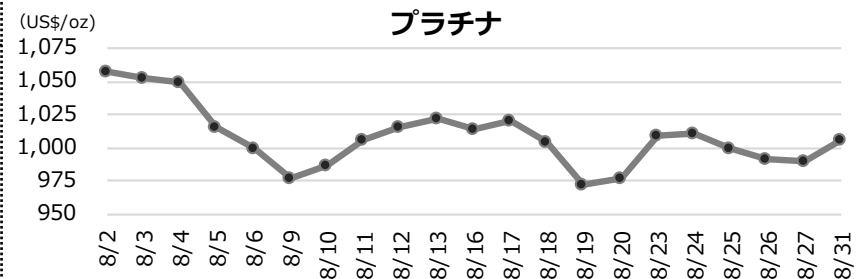
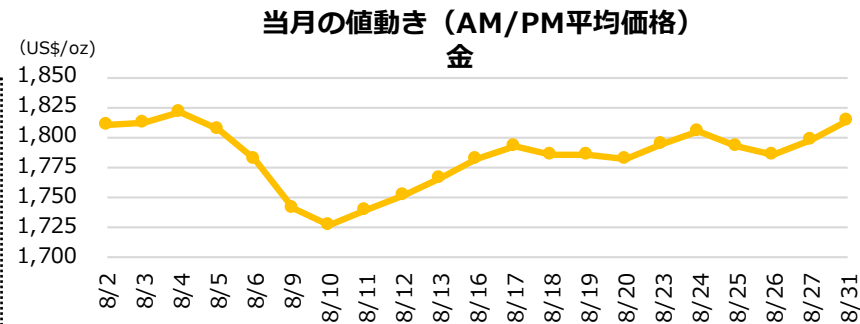


需給動向 -金・白金族-

金は米雇用改善等で下落もアフガン情勢で一時上昇、白金族は半導体不足の中トヨタ減産報道で急落

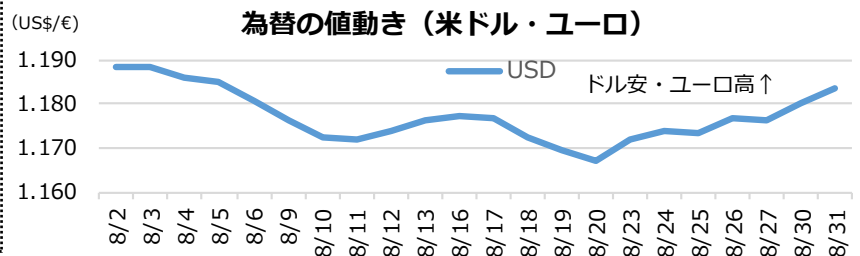
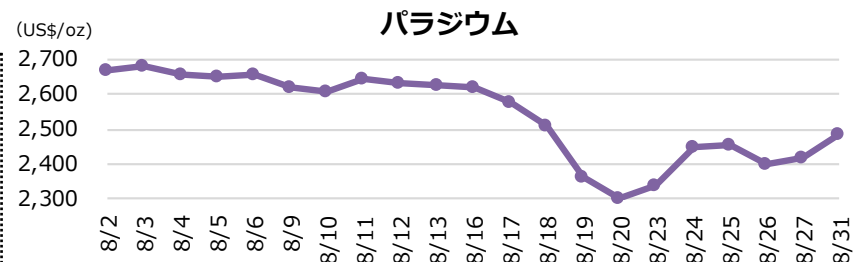
■金市況動向

- ① 米失業率改善、金融緩和縮小観測で下落：**当月1,809.5US\$/ozでスタート、4日当月最高値の1,820.8US\$/ozをつけたが、6日発表の米失業率が5.4%と前月（5.9%）から改善、米連邦準備理事会（FRB）による金融緩和の縮小観測が強まり下落基調となり、4日の最高値から4営業日で1,00US\$/oz近く値を下げ、10日に当月最安値の1,726.5US\$/ozまで下落した。しかし11日に発表された米消費者物価指数（CPI）が、2021年に入ってから+0.6~0.9%と高騰気味だったのが+0.5と落ち着いてきたことから上昇に転じた。
- ② アフガン・タリバンの攻勢で上昇基調：**中旬、アフガニスタンで反政府武装勢力タリバンと政府軍の戦闘で攻勢が伝えられ、11日以降上昇が続き、16日タリバンが大統領府を掌握、首都を制圧し勝利宣言を行うと、翌17日には1,791.8US\$/ozまで上昇した。その後は、翌週のジャクソンホール会議でのFRB議長による講演を控え様子見ムードの横ばいとなった。
- ③ 米景気減退観測で一時上昇：**23日発表の米PMI速報値が61.2と前月（63.4）を下回ったことで米景気の減退観測が広がりドルが下落すると、24日に1,800US\$/ozを超えた。26日、米食品医薬品局がファイザー等製コロナワクチンを正式承認したことで経済正常化への期待感から下落したが、月末に向け再び上昇に転じ、1,814.6US\$/ozで越月した。



■白金族（PGM）

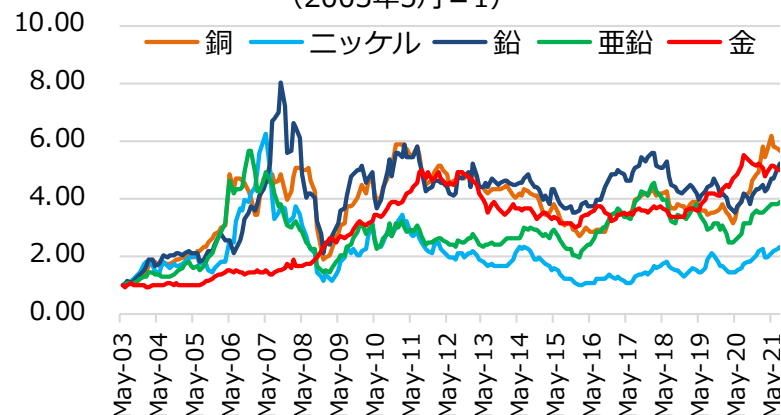
- ① 市況：**半導体不足による世界的な自動車生産低迷により、自動車の排ガス触媒に使われるプラチナ、パラジウムの上値が抑えられている状況の中、プラチナは当月最高値となる1,057US\$/oz、パラジウム2,673US\$/ozでスタート、パラジウムは翌2日に当月最高値の2,680US\$/ozをつけた。米雇用改善やドル高からプラチナは9日に下落、更にトヨタが世界の自動車生産を9月に4割減産の旨を発表すると、プラチナは19日に972US\$/oz、パラジウムは20日に2,304US\$/ozの当月最安値をつけた。翌週23日、ドル安により幾分値を戻し、プラチナは1,006US\$/oz、パラジウムは2,488US\$/ozで越月した。
- ② Implats社（南ア）：**コロナによる2020年の生産制限から回復し、2020/21年度（6月末）のPGM（6E）生産量は、対前年同期比16%増の3.27百万oz。うちプラチナ1.51百万oz、パラジウム1.12百万oz、ロジウム193.4千oz（7月28日）。
- ③ Sibanye Stillwater社（南ア）：**2021年上半期のPGM（4E）鉱山生産量、929千ozで対前年同期比41%増（5日）。



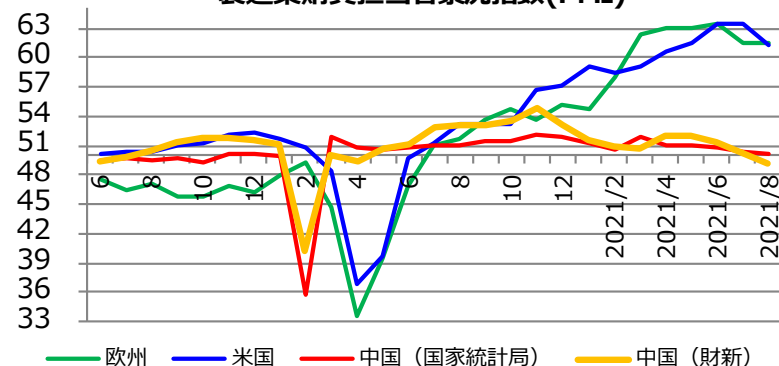
		銅 LME現物 (US\$/t)	亜鉛 LME現物 (US\$/t)	ニッケル LME現物 (US\$/t)	金 AM・PM平均 (US\$/oz)	プラチナ AM・PM平均 (US\$/oz)	パラジウム AM・PM平均 (US\$/oz)
本報告期	期 初	9,737.0	3,043.0	19,725.0	1,809.5	1,057.0	2,672.5
	期 末	9,462.5	2,997.5	19,513.0	1,814.6	1,005.5	2,488.0
	最高値	9,737.0	3,043.0	19,725.0	1,820.8	1,057.0	2,679.5
		8月2日	8月2日	8月2日	8月4日	8月2日	8月3日
	最安値	8,775.5	2,939.5	18,476.0	1,726.5	971.5	2,203.5
		8月19日	8月19日	8月19日	8月10日	8月19日	8月20日
平 均		9,357.2	2,988.9	19,160.4	1,784.0	1,008.5	2,542.0
先物 (8月31日)	3か月	9,457.5	3,007.0	19,488.0	—	—	—
	Dec 1	9,414.5	2,979.5	19,488.0	—	—	—
	Dec 2	—	—	—	—	—	—
2021年 (当年)	期 初	7,918.5	2,775.0	17,344.0	1,973.0	1,109.5	2,436.5
	期 末	9,462.5	2,997.5	19,513.0	1,814.6	1,005.5	2,488.0
	最高値	10,724.5	3,063.5	19,892.0	1,944.6	1,286.0	2,993.5
		5月10日	5月18日	7月30日	1月6日	2月16日	5月4日
	最安値	7,755.5	2,539.0	15,907.0	1,688.2	971.5	2,252.0
		2月2日	2月2日	3月9日	2月26日	8月19日	2月3日
平 均		9,170.4	2,866.0	17,857.1	1,803.0	1,139.1	2,604.5

主要非鉄金属の価格推移
(2003年5月 = 1)

(JOGMEC作成)



製造業購買担当者景況指数(PMI)



米国経済	8月の製造業PMI (IHS Markit社発表) は61.2 (前月 : 63.4、予測 : 62.5) と、前月及び予測をともに下回った。8月の非農業部門雇用者数は前月比23.5万人増 (前月 : 94.3万人増、予測 : 75.0万人増) と、前月及び予測をともに大幅に下回った。失業率は5.2% (前月 : 5.4%、予測 : 5.2%) と前月からほぼ横ばいに推移した。
中国経済	8月の製造業PMIについて、国家統計局発表は50.1 (前月 : 50.4、予測 : 50.1) であったほか、財新発表も49.2 (前月 : 50.3、予測 : 50.1) と、前月及び予測をともに下回り鈍化傾向となった。
欧州経済	8月の製造業PMIは61.4 (前月 : 61.5、予測 : 61.5) と、前月からほぼ横ばいに推移した。